食育フェスタ「朝食カードバイキング」

東三河地区(蒲郡市)

〇対象者: 蒲郡市内児童·生徒、保護者、希望者

〇実施者: 栄養教諭、保健所・保健センター栄養士等 (協賛: 豊川保健所管内蒲郡市栄養士会員)

本市は、県内でも野菜の摂取率が非常に低い。そこで、市内の小中学校では、「朝食に野菜をたべよう」をテーマとした食指導を行っている。

毎年、2月初めに「農林水産まつり・食育フェスタ」が開催される。コーナーの一角に「朝食カードバイキング」ブースを作り、小中学生とその保護者に、「選ぶ」という体験活動をさせながら朝食内容を振り返らせている。

朝食に野菜を食べようという思い を再確認させ、学校で行った食育の定 着を図っている。



写真-2 実際に料理を選び、面談している様子



写真-1 料理カード

実施内容は、料理カードを 並べておき、(写真-1) その料 理の中から、当日食べた朝食 に近い料理を選んでもらう。 (写真-2)

その後、栄養教諭が中心となり、「食事(朝食)チェック票」(表-1)に記入しながら個別に面談をする。

チェック票を出すなり、子 どもたちからは「これ、覚え てるよ!野菜は緑だよね?」 と学校の授業や給食時間での 食育指導の内容を思い出して いる様子が見られた。 面談では、給食献立を例に出し、バランスのよい食事に出い、事について今一度です。その後では、でするためのです。ないです。ないではないではないできないです。というではないではないでは、手渡りではいいでは、手渡りでは、手渡りでは、手渡りではいいでは、手渡りでは、手渡りではいいでは、

最後に、簡単朝食野菜レシピや、朝食のはたらきを掲載したプリントを配布し、家庭へ働きかけている。

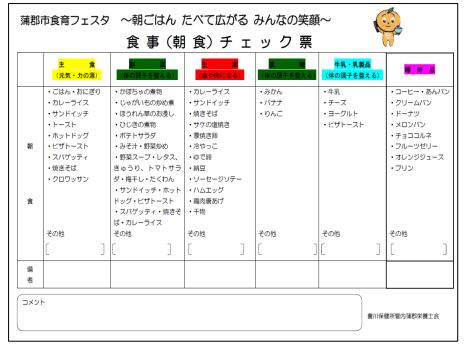
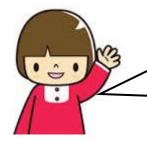


表-1 食事(朝食)チェック票

○反省·感想

小中学生の食育指導を再確認させる場を設定し、繰り返し指導することで、朝食に野菜を食べる割合が少しずつ増えてきた。また、市と連携して取り組むことで、 家庭への啓発がより深いものとなった。

市全体で実施することで保護者とともに、地域の方への啓発にも繋がっている。



- ・朝ごはんでも野菜を食べようと思った。
- 朝ごはんで毎日野菜も食べているから、これからも食べていきたいです。

朝食で意外と野菜を食べていないことに気づきました。簡単なレシピをいただいたので、試して作ってみたいです。

